

相手の気持ちや立場を考えて行動しようとする児童の育成

- 道徳における発問と授業の振り返りの工夫を通して -

特別研修員 道徳 上田美果 (小学校教諭)

児童の実態

- ・親しい友達とだけ、挨拶をしたり遊んだりする。
- ・同じクラスで困っている人がいても、親しい友達にしか声をかけることができない。

教師の願い

- ・いろいろな人と接し、よさを見付けてほしい。
- ・困っている人には自分から言葉をかけてほしい。

手だて1 発問の工夫

- ・心揺さぶられる発問
- ・考える必然性のある発問
- ・理由を問う発問

手だて2 授業の振り返りの工夫

- ・思考の過程や変容が分かる板書
- ・多様な考えを導く話し合い活動
- ・キーワードを活用した自己の振り返り

実践1 「オトちゃんルールはあたりまえのルール」 ほんとうの思いやり 2-(2)思いやり、親切 (東京書籍)

道徳的価値を違った視点で考える 心揺さぶられる発問

オトちゃんがけがをしないように見学させるのは、やさしさではないのかな。



でも、オトちゃんはみんなといっしょに遊びたいって言っているよ。



やさしさにはいろいろあるけれど、相手の気持ちを考えることが大切なんだね。

板書を使って児童の発言を振り返り、 児童が大切だと思うキーワードを選び出す。

キーワード

やさしさ
相手の気持ちを考える
思いやり

自己の振り返りより

これからは、相手の気持ちを考え、やさしくしよう。

相手の気持ちを考えて、みんな同じように接したい。



話し合い活動から

実践2 「くずれ落ちたダンボール箱」 困っている人のために 2-(2)思いやり、親切 (東京書籍)

道徳的価値を考え直す 必然性のある発問

親切は、誰のために、何のためにするのか。



ほめられなくても、本気で人を助けたいという気持ちが大切だと思う。



人を助けると自分も気持ちよくなるよ。

板書を使って児童の発言を振り返り、 教師が意図的にキーワードを選び出す。

キーワード

くずれ落ちたダンボール箱
困っている人はおそろしい
かわいそう ・どうしよう
助けたい ・はやく
困っている人を助けて
おぼえのために
まよった

自己の振り返りより

人に喜んでもらうことが自分のほりになる。

相手が本当に喜んでくれる行動をとりたい。



話し合い活動から

友達アンケートの結果より

39人中31人が
「困っている人に自分から
言葉をかけている」と
こたえました。

困っている人に 進んで言葉をかけることができる児童

成果と課題

- キーワードを意識した発問や授業の振り返りの工夫により、ねらいとする道徳的価値について考え直し、価値理解を深め、相手の気持ちや立場を考えて行動しようという意欲を持つことができた。
- 今後の生活に生かそうという道徳的実践意欲を持つために、自分の生活を振り返り、児童にとって身近にできる親切について考える機会を設ける必要がある。